

本の紹介

この度、教会の仲間が書いた小説が、本として出版されました。是非みなさんでご購入ください。

希望者は、北松戸教会に連絡していただくか、

インターネットのアマゾンで「山崎雛子 春の光」で検索してください

— 読者の声 —

「聖書の箇所がふんだんに盛り込まれていますが、柔らかい文体で読みやすく、一気に読みました。主人公の生き方というのがよくわかると思います」

「春の光」

2018年9月20日発行

著者:山崎雛子

— あらすじ —

地方都市のミッション系短大を卒業した主人公夕子は、親元を離れ、心の彷徨を続けるうちに男性との不幸な出会いと別離を繰り返す。ようやく結婚し一子を授かったものの、今度は夫の不可解な事故死によってどん底に突き落とされ、夕子は幼い子供を実家に残したまま、再臨したキリストを標榜するカルト教団に入信してしまう。夕子が通っていたキリスト教会の牧師関谷は救出に向かいながら、一方で自らが説くキリストの再臨について自問を始める。“果たして誰が再臨のキリストなのか?、と。関谷には、かつてこのカルト教団信者の救出を



試み、失敗した経験があったからだ。そんな関谷を仲間の牧師や信徒たちがはげまし、背中を押す。そしてかたくなにカルトからの脱会を拒む夕子に向き合い、関谷が最後に放った言葉、それは夕子への愛だった。

四六判変形 上製本 746頁 価格:2800円(税抜き)

2018年9月20日発行

著者 山崎雛子

発行 株式会社街から舎

〒 171-0051 東京都豊島区长崎3-13-15-101 TEL 03-6638-6685 FAX03-6638-6684

カバーフォト 福田益義

カバーデザイン 松島悠二(Ugプロジェクト) 印刷・製本 有限会社山猫印刷所